



第19回 城里町ふれあいの船事業 in 北海道

①船甲板見送り ②ウポポイ ③ブリッジ見学 ④タベのつどい ⑤ラフティング ⑥小樽散策 ⑦創作活動 ⑧夕食 ⑨旭山動物園 ⑩作文学習

7月23日(火)から27日(土)まで、町内の小学6年生105名(10班編成)が参加して、「城里町ふれあいの船事業」が実施されました。

「城里町ふれあいの船事業」は、北海道の雄大な自然の中での活動や船を利用した集団活動を経験し、通常の学校生活では得ることのできない自然とのふれあいや互いの心のふれあいを通して、心身ともに調和のある人間形成を図ることを目的としています。

《 行程表 》

1 日目	
15:00	出発式(常北公民館)
19:45	大洗港出港
2 日目	
9:00	ブリッジ・デッキ見学
13:30	苫小牧港入港
14:30	ウポポイ見学
17:10	宿泊地到着(洞爺湖)
20:45	花火見学
3 日目	
9:00	尻別川ラフティング (もしくは創作活動)
15:00	小樽市内散策
17:30	札幌での夕食
19:20	宿泊地到着(札幌)
4 日目	
8:45	旭山動物園へ出発
11:00	旭山動物園見学
18:45	苫小牧港出港
5 日目	
9:45	感想文作成
13:00	解散式(船内)
13:30	大洗港到着
14:40	城里町帰着(常北中学校)

《 実り多い5日間 》

出発式では、軍司 羽瑠さん(沢山小)が代表してあいさつし、家族に見送られながら元気に出発しました。
大洗港から苫小牧港までは、約16時間。船中では、親睦を深めるための交流や、家族へのはがき作成などを行いました。
北海道到着後は、ウポポイでアイヌ文化を学び、尻別川でラフティング体験を行い、北海道の雄大な自然を満喫できました。
また、小樽市内の散策および旭山動物園見学では、高校生リーダーと班長・副班長を中心に計画を立て、限られた時間を有効に使って活動しました。
解散式では、阿久津 圭祐さん(七会小)が代表してあいさつし、この5日間の研修を締めくくりました。

《 5日間の研修を終えて 》

「ふれあいの船事業」を通して、知らない児童同士が互いにふれあい、集団生活におけるルールやマナー等を身につけることができました。また、各班のリーダーである高校生の成長も日に日に感じ取ることができ、非常に有意義でした。
子供たちには、5日間の団体生活でお互いに助け合い、認め合い、感謝し合う気持ちが芽生え、解散式では深い感動と充実感が見て取れました。5日間という短い期間で一人ひとりが成長を遂げ、心に強く残る船の旅となりました。
また、5日間の研修期間中、大きな事故やけがもなく、無事に帰ってることができました。